みんなDE学ぼう 認知症予防教室

2025 9 VOL.69

のざと診療所認知症予防教室グループ　発行

第６９回講義『認知症を理解し支えられるように』



今回は大野医師はお休みでしたが、西淀病院の認知症看護認定看護師　板木平　順子さんにお越しいただき、病棟看護師の視点から認知症講義を行っていただきました。

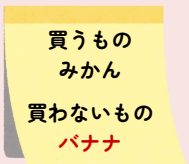
いまや「５人に１人が認知症」。「認知症」とはどういう病気なのかをまずはおさらいし、では周囲の人間はどのように患者さんと接していけばいいのか？困ったときに頼れる地域の窓口は？認知症患者への支援とは？といった誰もが突き当たる疑問に丁寧に答えていただきました。

講義の中で、「認知症の問題は人災」という言葉がありました。周囲の無理解が患者さんを追い詰めるのです。

逆に、周囲の理解と適切な支援があれば、認知症を患っていても笑顔で生活を送ることができる、ということだと学ばせていただいた講義でした。

講義に使用したスライドは別紙掲載中です　是非ご覧ください

生活支援の工夫



メモを作る

記憶障害を補う
やってほしくないことは
赤字で強調



カレンダーに予定を書く

時間の見当識を補う
目につきやすい
場所に貼る



コミュニケーション

急かさない
まずは見守る
ゆっくりはっきり穏やかに話す



驚かせない
後ろから声をかけない
複数人で一斉に話さない

自尊心を傷つけない
目を合わせて話す
相手の言葉に耳を傾ける

皆さんのお声

皆さんアンケートのご協力ありがとうございました！

★身近に感じるお話、老いてはやはり心の支え、でも本人の努力も必要かな。
☆自分で前向きに認知症にならないよう歩いて行こう。心のふれあい！

★認知症の方の対応についていろいろ教えていただきました。なかなか難しいなあと思いました。自分の気持ちを二歩控えて相手の気持ちを考えて、やさしさをもって努めたいと思いました。

次回開催日程

参加無料

第７０回　９月２５日
第７１回　１０月２３日

毎月第４週木曜日
１４時より定例開催中！
TEL　06-4808-8151